

さかえつながる通信

第6号

～「さかえ・つながるプラン」に関するニュースをお知らせします～

<発行年月日>

令和2年3月31日

<発行責任者>

栄区福祉保健課

第2回 さかえ・つながるフォーラムを開催！

「ぼけますから、よろしくお願ひします。」

令和元年12月10日（火）13時30分～16時

たちーらんど（栄公会堂）参加者：244名

ドキュメンタリー映画上映・監督 信友 直子氏 講演



この映画の監督であり、ひとり娘である「私」の視点から、認知症を発症したお母様と、介護と家事に奮闘するお父様がスクリーンに映し出され、そのありのままの姿のやりとりに来場者は共感を覚えたようでした。

お母様が認知症なのではないかと気づき始めたときのエピソードや、介護サービスの利用を長い間拒否していたお父様を説得して、サービスの利用につながるまでに大変苦労されたこと、介護は介護のプロとシェアすることが大切など、映画のシーンにはない部分についてもお話していただきました。

～参加者の感想～

- ・他人事ではないと感じた、明日は我が身だと思った。
- ・認知症のことや、地域包括支援センターのことをもっと知ってもらう必要がある。
- ・地域での暖かい見守りが必要。認知症の方も発信する勇気を持ってほしい。

“地域福祉保健計画”って？

この通信では「さかえ・つながるプラン」に関することについて取り上げています。そこで、今回は“さかえ・つながるプラン”についてご紹介したいと思います。今回、ご紹介できるのはほんの一部です。みなさんの地域でもたくさんの取組、活動が展開されていますので、機会があれば参加してみてください。



どんな計画？

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、公的機関（行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めることを目的として、策定されています。

困りごと
課題



話し合い



取組・改善



暮らしやすい
まちに

栄区では？

正式名：栄区地域福祉保健計画 →(略して)→ ちふく
愛称：さかえ・つながるプラン →(略して)→ つなプラ

例えばこんな取組

様々な取組により、支えあい、見守り、健康づくり、顔の見える関係づくり等が進められています。



ちよこっとボランティア

電球の交換や、物の移動、お話しなど、生活の中での不自由なことやちょっとした困りごとをお手伝いするお互いさまの活動が広がっています。



サロン、居場所の運営

高齢者や親子、学校帰りの子どもなどが集える場の運営をしています。情報交換したり、おしゃべりしたり、人と人がつながる交流の場となっています。



災害時要援護者支援の取組

災害時に自分で避難することが困難な高齢者や障害者など要援護者を支援する仕組みづくりをし、日ごろからの顔の見える関係を進めています。

健康への取組

高齢者を対象に介護予防の体操や転倒骨折予防の取組、保健活動推進員による健康チェック、ラジオ体操、口腔ケアなど「運動・栄養・社会参加」の視点から健康寿命の延伸に取り組んでいます。

第4期計画（令和3年度～）策定に向けた取組～地域活動者アンケート～

地域ケアプラザや区社会福祉協議会を利用して活動している方にご協力いただき、アンケートを実施しました。（回答数 221 件）

◆あったら良い取組はどんなことですか？

隣近所の支えあい・見守り
身近なところで交流できる機会や場
近隣の地域、他団体との連携、情報共有
地域で情報共有するための発信

◆現在の活動を進める上での課題は何ですか？

協力してくれる人が集まらない
メンバーの負担が大きい
リーダーになる人がいない
地域に活動が知られていない、発信不足

◆今後取り組んでいくべき課題は何だと思えますか？

地域の助け合い
防災、防犯、災害時の支援
介護者支援
心の健康
引きこもりへの支援

多かった回答をご紹介します。
ご協力ありがとうございました。



発行
お問合せ

栄区役所福祉保健課事業企画担当

電話：894-6917 FAX：895-1759
Email：sa-fukuhoplan@city.yokohama.jp